

11/13 支笏湖の湖水の美しさを表現
千歳・支笏湖氷濤まつり



千歳・支笏湖氷濤まつりの制作を前に、支笏湖まつり実行委員会の皆さんが市を訪問し、イベント全体像などを説明しました。開催期間は、令和6年1月27日（土）から2月25日（日）までの30日間。今年度は《氷の美術館》をコンセプトに、ブルータワーや大氷山など、美しさど迫力ある氷像が制作されるほか、4年ぶりに支笏湖に生息する魚を氷の中に展示する《氷の水族館》が復活します。小林実行委員長からは、「支笏湖の湖水で造られる《支笏湖ブルー》と呼ばれる美しい氷像をぜひ皆さんにご覧いただきたい。そのために、これから24時間体制で準備を進めて頑張ります」と意気込みが語られました。

12-1 現在

人々のうごき

《総人口》
97,960人（-114）
男性 49,778人（-60）
女性 48,182人（-54）
《世帯》52,207世帯（-45）
（ ）内は、前月との比較です。

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

11/13 冬の交通安全運動
人波街頭啓発



千歳市は、千歳市交通安全運動推進委員会と共催で、11月13日から22日までの10日間、《冬の交通安全運動》を実施しました。全道統一行動日となる13日には、千歳警察署員や交通安全協会の会員ら約30人とともに、道の駅サーモンパーク千歳を訪れる観光客や市民に《飲酒運転は犯罪》とかがれたポケットティッシュなどを配布し、飲酒運転根絶を呼びかけました。また、道の駅前の国道337号の沿道では、《飲酒運転根絶》、《スピードダウン》、《シートベルト着用》などと書かれた旗を掲げながら、通行車両に対し交通安全を呼びかけました。

Vol. 08 北海第1号着陸 歓迎の花輪

Chitose Airport 100th anniversary

と握手を交わし、今日の訪問飛行が無事に実現したことを喜び合いました。続いて川合の愛娘、トシ子が酒井の前に出ます。その小さな両手には、大きな花輪。酒井への歓迎の意を示す、村民一同からの贈り物でした。酒井は、今しがた搭乗してきた愛機の横に立つと、観衆に向かって演説を始めます。「この飛行機は海軍偵察機を民間機に改造したもので、ゆっくりと振り返って機体に刻まれた二文字を指し、「名を『北海』といいます」

村民の労力奉仕による、手づくりの着陸場。その一番機の名が、酒井の口から語られたのでした。着陸からおよそ2時間。記念撮影を終えた酒井は、帰途につくため再び飛行機に乗り込みます。飛行機が轟音を響かせ動き出すと、今度は鮮やかに宙を舞い、村民への敬意を込めた旋回飛行を披露。別れを惜しむ観衆の万歳が響く着陸場を背にし、札幌の夕焼け空へと消えていきました。

手づくりの着陸場から新千歳空港へ
開港100年の歴史を振り返る

ちとせ空港 百年物語

10/31 千歳空手道スポーツ少年団所属の4人
世界大会でメダルラッシュ!



千歳空手道スポーツ少年団に所属する4人の選手が、東京で開催された第10回KWF（空手之道世界連盟）ワールドカップに出場。好成績を収めた同少年団の松原優さん（向陽台中2年）、市川瑛渡さん（泉沢小5年）、伊藤圭吾さん（千歳小5年）、金坂笑葉さん（向陽台つくし幼稚園年長）が市長表敬のため市役所を訪れました。松原さん、市川さん、伊藤さんの3人は団体形（15歳以下の部）に出場し金メダル。松原さんは個人形と個人組手（ともに12～13歳の部）でも金メダルを獲得し、金坂さんは個人形（6～7歳の部）で銅メダルを獲得しました。金坂さんは、同少年団の伊阪代表が「教えた事を表現するために一生懸命やる、素直な子」と期待を寄せる選手。世界大会でのメダルを喜びながらも、「次は金メダルを取りたい」と力強く話してくれました。

11/5 子どもと大人と一緒に楽しんだ
秋のバードウォッチング



青葉公園をフィールドにした野鳥観察などを通じ、身近にある自然とふれあうことで自然環境保全意識の啓発を図ることを目的に開催した《秋のバードウォッチング》には、子ども7人を含め、合計17人が参加しました。当日は風がないバードウォッチング日和で、アカゲラやヒヨドリなど12種類の鳥を見ることができました。中でも参加者の目を引いたのは《ゴジュウカラ》。この鳥は下を向きながら下りてくることが出来る珍しい特徴があります。参加者からは、「初めて下に向かって歩いている鳥を見た」「双眼鏡を使って大きく鳥が見えた」など、楽しそうな会話が聞こえてきました。



まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

11/2 無事故無災害を願って
除雪安全祈願祭



降雪時期の到来を前に除雪時の安全を願い、車両センターにおいて《除雪安全祈願祭》が行われました。祈願祭では千歳神社宮司による安全祈願ののち、除雪業務を担う千歳市環境整備事業協同組合の荃津代表理事のほか、品田副市長や浜除雪部会長、各ブロック長ら13人が代表して玉串をささげ、関係者約100人が今シーズンの無事故を祈願しました。荃津代表理事は作業員に向けて「皆さんの協力をいただきながら、一致団結して無事故無災害で除排雪業務を行っていききたい」とあいさつしました。